

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
11211	笑顔de婚活 まつやま巡り愛プロジェクト事業	こども家庭部	こどもえがお課	2

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	少子化対策担当	連絡先	948-6039
------	--------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	笑顔de婚活 まつやま巡り愛プロジェクト事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
11211							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる						
施策	出会いからの環境整備		○	○	○	○	
主な取組	出会いの場の創出	根拠法令					
取組みの柱	出会いの機会の提供						
目的・背景	年々、出生数が減少し少子化が進展する中、未婚化・晩婚化も進行していることから、人口減少に歯止めをかけるため、松山市が第6次松山市総合計画の主な取り組みに掲げた「出会いの場の創出」を具現化する方策として、「笑顔de婚活 まつやま巡り愛プロジェクト事業」を実施することで、独身男女に幅広い出会いの機会と、よきパートナーとの出会いを提供している。また、平成28年度からは、「まつやま圏域未来共創ビジョン」に基づき、松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町の3市3町が連携して婚活支援を実施することで、松山圏域の独身男女についても幅広い出会いの機会と、よきパートナーとの出会いを提供している。						
対象・内容	一般社団法人愛媛県法人会連合会に各種婚活イベントの開催等に伴う業務を委託し、婚姻数の増加を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	福祉政策費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	婚活イベント開催等の業務委託料		8,480
予算 (千円)	事業費計	8,964	8,909	8,945					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	1,420	1,394	1,400					
	一般財源	7,544	7,515	7,545					
決算 (千円)	事業費計	8,542	8,480			主な 取組 内容 【R4】	・各種婚活イベントの企画・立案・周知 ・笑顔de婚活まつやま巡り愛プロジェクト業務委託 ・松山圏域3市3町婚活支援業務委託		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	1,279	1,274						
	一般財源	7,263	7,206						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント回数		目標	9	10	10	10	新型コロナウイルス感染症の発生状況等を注視しながら可能な限りイベントを実施したが、目標数には届かなかった。	
			実績	7	8				
	単年で増	回	達成率	78%	80%				
成果指標	カップル成立数		目標	33	34	35	35	新型コロナウイルス感染症対策で、オンライン婚活を実施した。対面イベントに比べ、参加者数が限定されたことなどが要因で目標数には届かなかった。	
			実績	23	32				
	単年で増	組	達成率	70%	94%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に引き続き、対面ではなくオンラインによる婚活イベントの開催となった。しかしながら、イベントの実施方法を委託業者や松山圏域の3市3町で協議し、工夫しながら実施できたことで、当初の目標どおりとはいえないが、昨年度よりカップル成立数が増加するなど、一定の成果は上げることができた考える。							
課題	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、対面による婚活イベントを再開するが、喫緊の課題である少子化対策にこれまでに以上に取り組むため、参加者のニーズを捉えた、より良い婚活イベントを実施していく必要がある。					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	既存で実施している婚活イベントを含め、参加者のニーズを捉えた、より良い婚活イベントを実施できるよう、若者や関係者などの意見も踏まえながらイベント内容を検討していく。